

# 幸せを呼ぶコウノトリ

4月6日から、春の交通安全運動が始まり、気仙地区交通安全協会世田米分会（杉下吉身会長）では同日、幸せを呼ぶ鳥と言われる「コウノトリ」の像を設置しました。

この像は1本の木をチェーンソーで削って作品にする「チェーンソーアート」で作られたもので、高さ1m50cmと80cmの親子で、「コウノトリ地域に運ぶ安全・安心街づくり」の看板とともに設置されました。

町内では平成18年2月から死亡事故がなく、杉下会長は「死亡事故ゼロや無事故無違反を運び、幸せを呼んで欲しいという願いをこめて設置した」と話しました。



親子の「コウノトリ」が交通安全を見守る

# きれいな気仙川を守る

4月19日、町民総参加の気仙川一斉清掃が行なわれました。

この日は好天に恵まれ、早朝から多くの町民が作業に汗を流しました。

河川清掃はきれいな気仙川の景観を守ろうと毎年春と夏の年2回開催されている恒例行事で、滝観洞から陸前高田市までの気仙川と支流の川沿いの道路などで清掃活動を行ないました。



早朝から作業を行なう参加者

珍しい話題などがありましたら町づくり推進課へご連絡を。  
☎46-2114(直通)

# 町内小中学校82人の新入生

4月4日、町内の中学校で、7日には町内の小学校で入学式が行なわれました。

中学校では昨年より12人少ない39人が、小学校は6人多い43人が希望を胸に入學しました。

世田米小学校では27人の新入生が先生から名前を呼ばれると「ハイッ」と元気な声で返事をしていました。



世田米中学校



世田米小学校



有住中学校



有住小学校

今年の新入生		
小学校	世田米	27人(26)
	有住	16人(11)
中学校	世田米	23人(30)
	有住	16人(21)

( )は昨年の新入生の人数

3月上旬に石川県金沢市で開かれた「第33回全国児童生徒徒木工工作コンクール」で、世田米中学校特設木工部（岩城直俊部長）の作品「長安寺山門」が中学校の部で林野庁長官賞（全国2位）に輝き、昭和62年から続く毎回入賞の偉業を達成しました。

この「長安寺山門」を制作したのは岩城部長をはじめ菅崎忠浩さん、神田峻平さん、高橋翼さん、水野昂



林野庁長官賞に輝いた特設木工部のメンバー

# 特設木工部が全国表彰

太さん、水野辰哉さんの6人で、部活動を引退した3年生が自主的に参加し、4ヶ月以上かけて完成させました。

岩城部長は「大臣賞を取りたかったが高評価を受けて嬉しい。後輩たちにも伝統を受け継いで欲しい」と笑顔で話しました。

この表彰式は5月下旬に金沢市で行なわれる予定になっています。

# 昨年引き続き山焼き実施

4月6日、下有住奥新切地内の町有地で昨年に続き「山焼き」が実施されました。

今年3月下旬に実施予定でしたが積雪のため見送り、5日は前日の雨のため途中で中止しました。

3度目のこの日は朝から天候もよく、すみた里山を守る会（紺野昭二会長）の会員が午前7時すぎからバーナーや束ねたカヤで次々と点火し、3時間ほどで約3ヘクタールを焼きました。

今後は守る会が管理しながら山菜などの発生状況の調査を行います。



火入れ作業をする「守る会」の会員

# 保育園で親子交通安全教室

4月11日、世田米、有住両保育園で親子交通安全教室が開かれました。

この教室は園児たちの交通事故防止を目的に毎年行なわれており、世田米保育園（佐賀篤園長）では園児と保護者など約100人が参加し、大船渡警察署世田米駐在所員や気仙地区交通安全協会世田米分会員が指導にあたり、園児たちは保護者と一緒に園の付近を歩き、交差点の横断や信号機の見方などを学びました。



手を上げて横断歩道を渡る園児や保護者